

水泳指導の充実(2億457万円)

区や民間の屋内温水プールを活用した水泳指導の実施体制に移行していくため、試行を含め24校が学校外の屋内温水プールでの水泳指導を実施します。

また、受入れ先として、新宿地区に学校が優先して利用できる新たな屋内温水プールの整備を進めます。

今後も区立小学校の水泳授業を学校外の屋内温水プールで実施するよう順次移行していきます。

実施校			
本田小学校	道上小学校	木根川小学校	飯塚小学校
葛飾小学校	金町小学校	川端小学校	西亀有小学校
渋江小学校	鎌倉小学校	白鳥小学校	幸田小学校
奥戸小学校	水元小学校	西小菅小学校	細田小学校
二上小学校	こすげ小学校	南奥戸小学校	よつぎ小学校
小松南小学校	宝木塚小学校	東綾瀬小学校	四ツ木中学校

学校給食費の完全無償化 (14億1,784万円)

学校給食を安定的に提供することにより、児童及び生徒の心身の健全な発達を促すとともに教育環境の一層の充実を図ることを目的に、区立小・中学校の学校給食費の完全無償化を実施します。



教育情報化の推進(17億4,873万円)

全ての子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができる学校教育を実現するとともに、災害等による緊急時においても学びを保障するため、学校におけるICT環境の整備や授業及び校務におけるICTの活用等、教育の情報化の推進を図ります。

放課後子ども支援事業(3億9,644万円)

柴原小学校内に学童保育クラブを整備するとともに、全小学校のわくわくチャレンジ広場に外国人の英語指導員を月に2回程度派遣し、学童保育クラブと連携しながら生きた英語に接する機会を設けていきます。

学校施設の改築(58億2,067万円)

適切な学習環境を確保できるよう、学校規模の適正化や老朽化の状況などを踏まえ、地域バランスを考慮しながら学校改築を進めます。

●改築校

高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校、水元小学校、道上小学校、二上小学校、よつぎ小学校・四ツ木中学校、宝木塚小学校、常盤中学校、柴又小学校

●一部改築・改修校 西小菅小学校

学校施設のバリアフリー化 (2億5,786万円)

小学校3校・中学校3校にスロープを設置するほか、小学校2校・中学校1校に車椅子使用者用トイレを設置します。

学校適正規模の推進(1,255万円)

東四つ木地域(木根川小学校、渋江小学校、中川中学校)において、地域の方々と協議しながら学校適正規模に向けた取組の検討を進めます。

発達障害の可能性のある子どもへの 支援体制の充実(9,591万円)

発達上の課題がある子どもに対して指導を行う「特別支援教室」を全小・中学校で実施するほか、多層指導モデル(デジタル版MIM)や、発達障害の可能性のある子どもとの関わり方に困っている保護者向けのペアレントトレーニングなどを引き続き実施します。

※多層指導モデル(デジタル版MIM)とは

学習障害の子どもがたずみやすい特殊音節に対し、語句を正しく読む、書くことができるよう、3層構造からなる指導モデルのこと

不登校対策プロジェクト(5,284万円)

不登校やその傾向にある子ども一人一人の状況に応じた支援策について、教員経験者と心理専門員が学校と定期的に協議し、その結果を踏まえながら、学校が家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。

また、登校できない状況にある子どものため、「ふれあいスクール明石」(適応指導教室)を運営するとともに、登校はできないものの教室に入ることのできない子どもを支援するための「校内適応教室」を、新たに桜道中学校と亀有中学校に開設します。

さらに、令和6年度に向け、2校の開設準備を行います。

日本語指導の充実(4,613万円)

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を運営します。また「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。さらに、日本語の理解が十分でない児童・生徒及びその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため、日本語通訳を派遣します。新たに日本語指導が必要な児童・生徒を対象に日本語を学ぶことのできる夏期講座を実施します。